5 工業の発展と人々の生活の変化

○交通網の整備による工業の成長

東北地方:1940年頃までは農林水産業が中心

→食品工業や木材の加工業がおもな産業

→集団で関東地方へ就職する人や、冬の間に出稼ぎに行く人が多い

交通網の整備

〔東北自動車道や東北新幹線など整備

〔山形・八戸・磐越・秋田自動車道や山形新幹線・秋田新幹線など整備

→高速道路沿いに( )が造られ、電気機械工場などを誘致

○新たな工業の発展と環境に配慮したエネルギーの導入

岩手県・宮城県の高速道路沿い:1990年代に自動車工場が進出

→東日本大震災で被害を受けたが、現在では自動車生産の一大拠点となる

東日本大震災の原子力発電所の事故

→風力や地熱、太陽光、バイオマスなど再生可能エネルギーを導入する動き

山形県・岩手県中心:電子部品や情報通信機械、医療機器などの製造

○進化する伝統工芸品と後継者の育成

東北地方の( ):地元の材料が使われ、冬の間は農家の副業として発達

〔漆器:会津塗(福島県)、津軽塗(青森県)

〔木工品:天童将棋駒(山形県)

〔鉄器:南部鉄器(岩手県)→生産量が減少するが、現代風にデザインを変え国内や海外で人気

伝統工芸品を作る職人の高齢化

→訓練校を開き、後継者の育成に取り組む